第９回「長崎県　ペア・スクランブルゴルフ大会」秋の陣　競技規則

開　催　日　　令和８年９月 15 日（火）
開催コース　　オーシャンパレスゴルフクラブ

主催　長崎県ゴルフ協会

ローカルルール

1. アウトオブバウンズ　（規則 18.2）
   アウトオブバウンズは白杭または白線で定める(定義「アウトオブバウンズ」参照)。
2. ペナルティーエリア　（規則 17）
   ペナルティーエリアは、赤杭または赤線をもってその限界を標示する。ＮＯ．８・ＮＯ．11・ＮＯ．13・ＮＯ．14・ＮＯ．16 のペナルティーエリアに球が入り処置する場合は、特設のドロップゾーンを使用しなければならない。
   （注）ペナルティーエリアのための指定ドロップ区域
   指定ドロップ区域は救済エリアでありドロップされた球はその救済エリアに止まらなければならない。
3. 異常なコース状態(動かせない障害物を含む)　（規則 16）
   （a）　修理地
   (1)修理地は白線と青杭で標示する(定義「修理地」参照)。
   (2)パッティンググリーンの前後のペイントマークと、ジェネラルエリアの芝草を短く刈ってある区域にあるヤーデージマーキングペイントが球のライ、意図するスイング区域の障害となる場合（スタンスの障害は除く）、規則 16.1 に基づく救済を受けることができる。
   （b）　動かせない障害物
   (1)排水溝は動かせない障害物とみなす。
   (2)動かせない障害物に接している他の動かせない障害物は一体の動かせない障害物とみなす。
   (3)動かせない障害物に白線で繋がれた区域はその障害物の一部とみなす。
   （C）　地面にくい込んでいる球
   規則 16.3 は次のように修正される。バンカー上方の積み芝の面にくい込んだ球について罰なしの救済は認められない。
4. コースと不可欠の部分
   樹木保護のための巻物施設（巻網など）は、コースと不可分の部分とする。
5. クラブと球
   （a）　適合ドライバーヘッドリスト：ローカルルールひな型Ｇ－１を適用する。
   このローカルルールに違反したクラブでストロークを行ったことに対する罰：失格
   （b）　溝とパンチマークの規格：ローカルルールひな型Ｇ－２を適用する。
   このローカルルールに違反したクラブでストロークを行ったことに対する罰：失格
   （C）公認球リスト：ローカルルールひな型Ｇ―3 を適用する。
   このローカルルールの違反の罰：失格
6. プレーの中断（規則 5.7）
   プレーの中断及び再開の通報は以下の通り。
   プレーの即時中断：１回の長いサイレン
   プレーの中断　　　：連続する３回のサイレン(繰り返し）
   プレーの再開　　　：2 回のサイレン
   注：危険な状況のためにプレーを即時中断する場合、すべての練習区域は委員会がプレーを再開するまで閉鎖される。閉鎖された練習場で練習するプレーヤーには練習を止めるように勧告し、それでも練習を止めない場合には失格となることがある。
7. ホールとホールの間の練習（規則 5.5ｂ）
   ローカルルールひな型Ｉ―2 を適用する。
   規則 5.5b は次のように修正される：プレーヤーは終了したばかりのパッティンググリーンやその近くで練習ストロークを行ったり、または終了したばかりのパッティンググリーンの表面をこすったり、球を転がすことによってパッティンググリーン面をテストしてはならない。

8. 移動
プレーヤーは、正規のラウンド中の移動は乗用カートを使用することができる。

※ローカルルールの全文については 2023 年 1 月発行の「ゴルフ規則のオフィシャルガイド」を参照すること。別途規定されている場合、または適用規則が明示されている場合を除き、ローカルルールの違反の罰は一般の罰。

競技の条件

9. ゴルフ規則
日本ゴルフ協会発行のゴルフ規則及び本競技のローカルルールを適用する。
10. 競技委員会の裁定
競技委員会は競技の条件を修正する権限を有し、すべての事柄についてこの委員会の裁定は最終である。
11. プレーの条件
(1) 18 ホール・ストロークプレー
各部門ともペア・スクランブルゴルフ競技方法によるチームのグロススコアにて順位を決定する。
(2) 「男性ペア部門」「男女ペア部門」「女性ペア部門」の 3 部門とする。
使用ティ　＝　男性「白」　女性「赤」
(3) メンバーの変更は、競技前日の 17 時迄認めるものとする。(部門変更を伴う選手交代は不可)
(4) 天候その他の都合により競技方法を変更することがある。
12. スコアカードの提出
スコアカードの提出はスコアリングエリア方式を採用する。
13. タイの決定
規定のホールを終わり全ての順位は、マッチングスコアカード方式により順位を決定する。それでも決まらない場合はペアの年齢合計の高い方を上位とする。2 位以下も同様とする。
14. 競技終了時点
本選競技では競技委員長の成績発表がなされた時点をもってその競技は終了したものとみなす。

注意事項

15. ローカルルールの追加、変更
ローカルルールや競技の条件に追加や変更があるときは、スタート室前に告示する。
16. 練習
練習は指定練習場で行うこと。打放し練習場においては備え付けの球を使用し、スタート前の練習では球数をコイン 1 個(24 球)に制限する。
17. 競技前日の練習
競技前日の練習はアウト、インともスタートを 14 時 00 分で打ち切る。
18. 参加の取消し
委員会は競技中を含めいつでも、出場に相応しくないと判断したプレーヤーの参加資格を取り消すことがある。
19. 行動規範
プレーヤーにエチケット違反、または非行があった場合やまた重大な非行があった場合には規則 1.2 に基づいて失格とする場合がある。

ペアスクランブル競技方法

① ペア2名（男性白ティー・女性赤ティー）が各々ティーショットを打つ。
セカンドショット以降は、その中からペアとしてベストポジションと思われるボールを選択し、その地点から2人が打つ（選択されなかったボールは速やかにピックアップする）。
これをカップインまで繰り返し、カップインした時点でスコアは確定する。
（注意）先の打順のプレーヤーのショット又はパットがカップイン（この時点でスコアは確定）した場合でも、以降の打順のプレーヤーがショットまたはパットをすることができる（練習ストロークとみなさない）。
但し、これらのショット又はパットのためにプレーを不当に遅延させてはならない。

② ショット以降はペアの中でベストポジションと思われるボールを選択する。その他のボールは速やかにピックアップし、選択したボールにティペグでマークをする。
そのティペグからホールに近づかない**半径30cm程度の半円**の中に自分のボールをプレースし、ペア2名が打つ。打順はペア内で決めることができる。

③ 拾い上げた球は拭くことができる。

④ バンカー内のボールを選択した場合、そのバンカーは均すことができる。

⑤ マークしたティペグは2人目の選手がボールをプレースするまで取り除いてはならない。
（この競技方法に違反した場合でもペナルティは付かず、元の場所を推定しマークの事）

⑥ グリーン上でも採用するボールを選択する。
そのボールをマークしホールへ近づかない**半径15cm程度の半円**内にボールをプレースする。

⑦ ペア内のどちらかがカップインした時点でそのホールのスコアが確定するが、いわゆる**「お先にパット（マーク省略可）」で、パートナーが先にホールアウトしても、他パートナーのストロークを有効にカウントすることができる。**

⑧ マークは2人目の選手がボールをプレースするまで取り除いてはならない。

⑨ ティーショットの制限：18ホール（Par3ホール含）のラウンド中、それぞれのティーショットを最低7ホールずつのティーショットを選択しなければならない。
ホールアウトの時点でこの条件をクリアできない場合、1ホールにつき2罰打とする（18番ホールに加算）。
1人が棄権する場合、棄権する選手にも7ホールのティーショットの条件が適用される。
この条件をクリアできない場合、1ホールにつき2罰打とする（18番ホールに加算）。
（例／選択ホールを2ホール残した場合、2ホール×2罰打＝4罰打が加算される）

競技委員長　　柴田　義孝